

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年3月3日

団体名 ヒッポファミリークラブ岡崎

代表者 高間 栄子

構成員 44 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

「こぼれ人間」をテーマに多言語の自然習得と多国間交流の実践を通して、
言語と人間の科学的探究を進め、多国間の理解と人類の共生に寄与すること。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
6/9(日)・6/23(日) 6/16(日)・6/30(日)	リブら 市民会館	岡崎市民一般	7世帯 15人	多言語や世界の音楽を使ったリークショップと、「多言語のおあめ」についての講演会を行いました。
11/16(日)	"	"	50人	「おかざきこさだ会議」の1つのブースとして参加。多言語クイズ、ゲームなどで楽しめました。
7/9(木)・7/26(木) 7/21(金)・7/28(金)	なごみん リブら	"	3世帯 7人	「英語やるなら、多言語やっちゃおう」多言語を聞くと英語が簡単に感じることを体験してもらいました。
3/4(火)	大樹寺学区 子どもの家	大樹寺学区の 低学年の子と母たち	15人	いろいろな国のあいさつ。世界の音楽と歌で楽しく遊びました。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

愛知県内の外国人の国籍第1位がベトナムになりました。2位がブラジル。(日々変わりあが、
多言語が少しでも話せると日常生活で人助けができます。英語1つだけではよくも
といろんなことばに耳を傾けることが楽しさにつながることを伝えられたと思います。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

リークショップや講演会、体験会のほかに、市の主催する会に参加したり、子どもの家で放課後を過ごす子どもたちに楽しい時間を提供できた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。